

秦野市青少年指導員だより

発行 秦野市青少年指導員連絡協議会

編集 秦野市青少年指導員連絡協議会広報委員会

第53号

— 青少年指導員はこんなことをやっています —

各地区の活動報告

本町地区

「ほうらい会館まつり」

本町地区の青少年指導員は、地域の子どもたちの健やかな成長を願い、年間を通じてさまざまな地域の行事に積極的に参加しています。特に「ほうらい会館子ども祭り」「ほうらい会館祭り」「本町公民館まつり」では、指導員が総出で運営に携わり、地域のにぎわいを支えています。

今期は、子どもたちや保護者と一緒に楽しめる新たな取り組みとして、「バルーンアート体験」と「鯉のぼり工作」を実施しました。バルーンアートでは、風船をひねって動物や剣などを作る体験に、子どもたちは目を輝かせながら挑戦。鯉のぼり工作では、トイレットペーパーの芯を土台に、色紙やシールを使って思い思いの鯉のぼりを作成しました。

どちらの取り組みも大変好評で、子どもたちは集中して取り組み、小さな手で工夫を

凝らしながら、時間が経つにつれてどんどん上達していき

ました。一生懸命に取り組んだ子どもたちが、世界に一つだけの作品を手に満面の笑みを浮かべる姿に、私たち指導員も多く力をもらいました。こうした活動を支える青少年指導員ですが、近年は担い手の減少が課題となっています。子どもたちの成長を見守り、

地域の未来を育むこの活動も、新たな仲間が必要です。少しでも関心のある方は、ぜひお気軽に各自治会にお声がけください。



どんなものができたかな？

西上地区

「お正月お飾りづくり」

令和七年十二月二十七日

(土) 西公民館において公民館主催の「お正月お飾りづくり」が行われました。

このイベントは、公民館の毎年年末の恒例行事となっており、お正月のお飾りを自作で用意したいと今回も事前に申し込まれた多くの方々が参加しました。

お飾りづくりは、元西上地区の青少年指導員の中津川氏が講師を務め、同地区の現青少年指導員が補助にあたりました。

お飾りづくりを市民の方々に楽しんでいただくためには、事前の準備が大切です。

まず、材料となる干し藁を用意します。この藁は、すでに十月に地域の農家の方が提供していただいたものを使用します。

次に、イベント前日（今年は一週間前）に藁すきを行い、お飾りに使える藁を選別します。

お飾りづくり当日は、このすいた藁の他に材料として橙、ウラジロ、ゆずり葉、紙垂(しで)を用意します。

青少年指導員も指導の補助にあたるために、前日は材料の準備の他に、実際にお飾りづくりを体験しますが、特に藁を手でなう作業が難しく、毎年苦労しています。

しかし、イベント当日は、参加者が自分の手でお飾りを作り上げることで楽しさを味わえるよう、できるだけ手を貸さないよう心掛けて指導しています。

そして、できあがったお飾りに満足そうな笑顔を見せる参加者の様子に心が和まされます。



見事な出来上がり

大根鶴巻地区

「電気紙芝居」

大型紙芝居は、青少年指導員が管理し、上映してきた地域の人気活動で、通常の紙芝居より大きく、広い場所でも多くの子どもたちが楽しめる魅力がありました。しかし、その大ききゆえに運搬が大変で、借りるたびにこども館へ行かなければならないという課題もありました。そこで、より手軽に活用できる方法として考えられたのが「電気紙芝居」です。



大画面にくぎづけ

電気紙芝居は、大型紙芝居をデジタル化し、パソコンとプロジェクターを使って上映できるようにしたものです。大型紙芝居の絵を取り込み、パワーポイントで動きをつけたり、効果音を加えたりすることで、従来の紙芝居にはなかった演出を実現しています。

す。これにより、紙芝居本来の魅力を残しつつ、新しい表現方法により、子どもたちがより集中して楽しめるようになりました。

みんなおいで！ 子どもまつり

秦野市では毎年五月五日のこどもの日に、カルチャーパーク陸上競技場周辺にて子どもまつりを開催しています。昨年も第四十七回子どもまつりが開催され、青少年指導員は「ふれあいゲーム」と「ミニ動物園」で参加しました。



—シャトルラン—
みんな一斉に“よーいドン！”

ふれあいゲーム

- ・くつとぼし
- ・シャトルラン
- ・ドリブル
- ・なわとびユーターン

子どもたちだけでなく大人も全力で参加していました。記録用紙も配布され、嬉々として自分の記録を記入していました。

ミニ動物園

ウサギ・ハムスター・ひよこなどの小動物に間近に接することができる毎年人気のコーナーです。



おっかなびつくりヤギにエサやり

触るのもおっかなびつくりの小さな子がいたかと思えば、抱っこさせてもらった小動物を時間いっぱいとおしそうに抱いている子、逃げてなかなか捕まらないウサギを追いかけてまわっている子など様々でした。

みんな、動物たちにやさしく接していて、関わっている指導員たちも微笑ましい光景でした。

神奈川県

青少年指導員大会

令和七年十一月二十九日、

茅ヶ崎市民文化会館にて「第五十六回神奈川県青少年指導員大会」が開催されました。

今回のテーマは、「楽しくつなげよう人と人」と和「でした。

笑顔とつながりを大切に、地域の絆を深めることの大切さが改めて共有されました。

会場は温かな雰囲気にかまれ、参加者同士の交流も活発に行われました。

本大会では、長年にわたり地域の青少年育成にご尽力された功績が認められ、吉田トシ子さん（西地区・八期十五年）に感謝状が贈呈されました。

心よりお祝い申し上げます。



編集後記

青少年指導員だより第五十三号をお届けいたします。

今年度で第二十九期の二年目が終わりを迎えます。

この二年間、地域の皆さまに支えられながら、子どもたちの成長を見守り、様々な活動に取り組んでまいりました。行事や日々の関わりの中で、子どもたちが見せてくれる笑顔や挑戦する姿は、私たち指導員にとって大きな励みとなっています。

これまでのご協力に心より感謝申し上げます。

今後とも温かいご支援をよろしく願います。

第二十九期 広報委員

委員長

田方 淳一（大根・鶴巻）

副委員長

山川 寛顕（東）

中山 大輔（本町）

小口 敦子（南）

今井 節子（南）

小関 幸翁（北）

田方 明子（大根・鶴巻）

三國 壽成（西・上）

田村 幸久（西・上）

吉田 直哉（西・上）